

群馬県食品安全検査センター 業 務 報 告

N O . 4 2012

群馬県食品安全検査センター
Gunma Prefectural Food Safety Research Center

ま え が き

ここに平成 22 年度、23 年度の 2 年間の業務概要をご報告させていただきます。関係各位には、日頃から当センターの活動にご支援、ご高配を賜り、感謝を申し上げます。

2 年間を振り返りますと、平成 23 年 3 月 11 日東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の拡散事故により生活基盤・経済に大きな影響が生じ、放射性物質への不安もあり社会の大きな転換点となりました。

日本人の心に「絆」が再認識され、連帯された大きな力で復興・再生への出発となりました。一刻も早く平穏な生活が取り戻せますようお願いいたします。

放射性物質の測定は県民の関心も高く、流通食品や水道水の検査など継続して検査を行うなかで、検査を行う態勢整備と即時の情報提供や情報発信による『安心』を提供することの重要性を再認識いたしました。

さて、群馬県食品安全検査センターは食品の生産段階から、加工、流通段階の各段階における検査や医薬品等の検査を行っています。食品の製造・流通技術の進歩に伴う市場の国際化、また、食品の安全性や検査の信頼性に対する消費者の意識の高まりがみられ、検査法の妥当性検証や検査技術の高度化に努めてまいりました。

残留農薬及び残留動物用医薬品試験法の妥当性評価の達成期限がせまり、昨今のヘリウムガスの供給不安から対応が厳しい状況となっております。また、PIC/S への対応も急務となっております。さらに、財政事情による予算削減や人員削減等もあり、試験検査機関としての技術の継承、機器整備もままならない状況となっております。

このようななかで、センターの使命を再認識し、検査技術や経験を継承し、役割を果たして参りたいと考えております。

今後とも、ますますのご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

群馬県食品安全検査センター
所長 阿久沢孝文

目 次

まえがき

I 機 構

- 1 沿 革・・ 1
- 2 組織と業務内容（平成 24 年 4 月 1 日）・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 職種別職員数（平成 24 年 4 月 1 日）・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 4 主要備品一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

II 業務概要

- 1 業務の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 2 各係の業務概要
 - (1) 検査第一係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - (2) 検査第二係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
 - (3) 検査第三係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
 - (4) 検査第四係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 3 研修・技術情報交換
 - (1) 見学、研修事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
 - (2) 民間検査機関への技術支援事業・・・・・・・・・・・・ 16

III 報 告

資料

- 1 流通食品等の緊急時放射性物質検査について・・・・・・・・ 19
大槻剛史、永井佳恵子、山本和弘
- 2 動物用医薬品に関する検査法の妥当性評価試験について・・・・ 23
山本和弘、永井佳恵子、大槻剛史
- 3 平成 22～23 年度残留農薬検査結果・・・・・・・・・・・・ 29
中曽根由かり、木暮昭二、吉澤仁志、茂木修一、関慎太郎
- 4 食品中の微生物検査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
池田美由紀、武笠恵美子、茂木道江、小池裕子
- 5 平成 22～23 年度食中毒菌衛生実態調査結果・・・・・・・・ 37
小池裕子、池田美由紀、武笠恵美子、茂木道江

事例

- 1 食品添加物の違反事例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
西山美江、池田美由紀、清水明子、茂木芳美、山本久美子、田中祐子
- 2 健康食品中の医薬品成分検査結果について・・・・・・・・ 43
茂木芳美、山本和弘、西山美江、清水明子

調査研究

- 1 食中毒菌衛生実態調査におけるカンピロバクター（ジェジュニ/コリ）検査法の検討・・・・ 45
小池裕子、池田美由紀、川島遙、武笠恵美子、山本久美子、茂木道江

IV 研修・業績発表

- 1 学会・研究会及び会議への出席・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
- 2 紙上・学会等での発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50